

令和7年度 地理歴史・公民科「公共」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全科 1年 A組～C組
教科書	公共（実教出版）	副教材等	「公共 演習ノート」（実教出版）

1 学習の到達目

- ・考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	〔公共の扉〕 社会を作る私たち	青年期とは 自己形成の課題 職業生活と社会参加 伝統・文化と私たち 古代ギリシアの人間観	・人生における青年期の意義・特徴を理解する。 ・青年期の発達課題を理解する。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。 ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。	〔知識・技能〕 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
5	人間としてよく生 きる	科学と人間 自由の実現 社会を作る人間	・近代ヨーロッパでうまれた、科学的思考を理解する。 ・自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・社会参画や公共性の確立について思索した思想家たちの主張を理解する。	〔思考・判断・ 表現〕 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
6	他者とともに生き る	人間と幸福 公正な社会をめざし て 中間考査 人間の尊厳と平等	・功利主義の考え方を理解する。 ・社会の公正なあり方について思索したロールズとセンの主張を理解する。	
6	民主社会の倫理	自由・権利と責任・義 務 民主政治の成立 民主政治の基本原 理 民主政治のしくみと 課題	・人間の尊厳と平等といった原理の背景にある考え方を理解する。 ・差別や偏見を是正するための取り組みやその背景にある考え方を理解する。 ・民主政治の誕生と発展について理解する。 ・法の支配の考え方について理解する。 ・民主政治の意義と課題について理解する。	〔主体的に学習 に取り組む態 度〕 活動の様子の観 察、レポート、 口頭発表など
7	民主国家における 基本原理	世界の主な政治制度 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本的 性格 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権・請求 権 新しい人権 人権の広がり と公共 の福祉	・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。 ・日本国憲法の成立の経過について理解する。 ・日本国憲法の基本原 理について理解する。 ・自由権の内容について理解する。 ・平等権の内容について理解する。 ・社会権の内容について理解する。 ・新しい人権について理解する。 ・公共の福祉について理解する。	
9	日本の政治機構と 政治参加	平和主義とわが国の 安全 こんにちの防衛問題 政治機構と国会 行政権と行政機能の 拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度	・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・こんにちの安全保障政策の課題について理解する。 ・国会の役割や権限について理解する。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解する。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。	

10	〔現代の経済社会と国民生活〕 現代の経済社会	世論と政治参加 選挙権を行使するために 経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場のしくみ／市場の失敗 現代の企業 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割	・マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 ・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 ・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。 ・企業の役割と社会的責任について考える。 ・NI から三面等価の原則について考える。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 ・金融を通じた経済活動の活性化について考える。 ・様々な金融商品を活用した資産運用に伴うリスクとリターンなどについて考える。	〔知識・技能〕 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。 〔思考・判断・ 表現〕 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
11	日本経済の特質と 国民生活	日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本の財政の課題 戦後日本経済の成長 と課題 転機に立つ日本経済 経済社会の変化と中 小企業 農業と食料問題	・財政の持つ様々な役割について考える。 ・納税者としての立場から租税の在り方について考える。 ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。	〔主体的に学習 に取り組む態 度〕 活動の様子の観 察、レポート、 口頭発表など
12		消費者問題 公害の防止と環境保 全 労働問題と労働者の 権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割 社会保障制度の課題	・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 ・社会とのかかわりに着目して、これからの中小企業の姿を考える ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 ・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考える ・経済成長と公害問題との関係を考える。 ・法制度の整備のほか、私たち消費者の行動について考える。 ・労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。 ・日本の雇用形態の変化や、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ・諸外国の制度との比較も含めて考える。 ・少子高齢化が進行する中で、財源と対象を検討する。	
1	〔国際社会と人類 の課題〕 国際政治の動向と 課題	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 こんにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と見本の役 割	・国内政治や国内法との比較で考える。 ・主要機関や専門機関の働きから考える。とくに安保理改革を材料に考える。 ・対立構造の変容から、国際社会の力学の変化を考える。 ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認する。 ・とくにアジア諸地域の信頼回復の経緯を確認する。 ・人間の安全保障の観点から考える。 ・比較生産費説を検討して考える。	〔知識・技能〕 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
2	〔国際経済の動向 と課題〕	戦後の国際経済 法と貿易と国際収支 外国為替市場のしく み 第二次世界大戦後の 国際経済 地域的経済統合の進 展 国際経済のつながり と課題 発展途上国の諸課題 と日本の役割	・貿易収支の数値から一国の貿易の動向を確認する。 ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。 ・ドーハラウンドにおける先進国と途上国の対立や、二国間交渉への傾倒などから課題を考える。 ・多角主義の原則から二国間協定への流れ、さらにメガ FTA の挑戦といった過程を確認する。 ・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果、世界はこれまで以上に緊密化したことを確認する。 ・金融危機などの影響もグローバル化し、富の偏在も世界規模に拡大したことを確認する。 ・資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言などを通して考える。	〔思考・判断・ 表現〕 小テスト、定期 考査、ノートや ワークシートの 記述点検、発言 等の行動観察な ど。
3		SDG s にむけて	・ODA から SDGs につらなる援助と開発の過程について確認する。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現実社会の諸課題を探究する。	〔主体的に学習 に取り組む態 度〕 活動の様子の観 察、レポート、 口頭発表など

3 評価の観点

知識・技能	現代の初回代を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や論理について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の現実を視野に、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の三観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

ルールを守って授業に参加することが重要である。これから社会の一員として生活していくために、世の中の状況を的確に把握し、判断を下すことができる知識・技能や、よりよい生活を目指す意欲を身につけられるようにしよう。
--